

競 技 注 意 事 項 (加古川会場)

1 競技規則について

本記録会は、2022 年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会規定により行う。
 なお、競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。

2 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップは必ずサブトラックを使用し係員の指示に従うこと。なお、投てき練習は一切禁止する。
- (2) フィールド種目の練習は、招集完了後に競技役員の指示により競技場内で行う。

3 招集について

- (1) 招集所は室内練習場に設ける。
- (2) 種目別の招集開始・完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載している。
- (3) 招集の手順
 - ①招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。
 その際、アスリートビブス、スパイク・ランニングシューズの確認・点検を受け、腰ナンバーを受け取る。なお、長距離種目は別ナンバーも受け取ること。
 * スパイクピンの長さー走高跳・やり投 12 mm以内 その他 9 mm以内
 * ランニングシューズのソールの最大の厚さ
 800m未満のトラック種目、三段跳以外のフィールド種目：20 mm以内
 800m以上のトラック種目、三段跳：25 mm以内
 - ②点呼の代理人は認めない。ただし、2 種目にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼（アスリートビブス・腰ナンバー・スパイク等の確認・点検）を受けておくこと。
 - ③招集完了時刻に遅れた競技者は出場出来ない。
 - ④当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。
 * 多種目同時出場届、欠場届は、招集所備え付け、またはホームページからプリントアウトした用紙を使用すること。

4 競技について

- (1) トラック競技
 - ①レーンは、プログラム記載番号順とする。
 - ②競技運営上フィニッシュ地点で、男子 1500m=6 分、5000m=20 分、10000m=40 分、3000mSC=13 分、女子 1500m=7 分、3000m=15 分で残りの周回に入らず競技を打ち切る場合がある。
- (2) 別ナンバーは、競技終了後フィニッシュ地点の別ナンバー係に返却すること。
- (3) フィールド競技
 - ①試技順は、プログラム記載番号順とする。
 - ②走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。

男子 走高跳	1 組	練習 1. 25/1. 55/1. 80	1. 30-1. 35-1. 40 . . . 1. 85-1. 88-1. 91	以後 3 cm ずつ
女子 走高跳	1 組	練習 1. 10/1. 30/1. 50	1. 15-1. 20-1. 25 . . . 1. 55-1. 58-1. 61	以後 3 cm ずつ
男子 棒高跳	1 組	練習 2. 50~4. 50	2. 60-2. 70-2. 80 . . .	以後10cm ずつ
女子 棒高跳	1 組	練習 1. 80~4. 00	1. 90-2. 00-2. 10 . . .	以後10cm ずつ

- ③三段跳の踏切板の位置は下記のとおりとする。
 男子：9 m・11 m・13 m 女子：9 m

5 競技用具について

- (1) やり・ポール以外は、主催者が用意したものを使用すること。
- (2) やりは検査を受けて使用できる。この場合共用となる。
 検査時刻 第 2 日 (17 日) 女子-9:35~9:55 男子-11:35~11:55
 検査場所 フィニッシュ側器具庫
- (3) 棒高跳用ポールは、跳躍審判員の点検を受け自己のポールを使用する。

6 その他

- (1) 記録証明書を希望する者は、1 種目につき 500 円を添えて庶務係まで申し出ること。
- (2) ゴミは、各自で持ち帰ること。